

第48回 社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会
第11回 日本精神保健福祉士学会学術集会

想いをつなごう くまもと大会

開催の
ご案内

再生

創生

深化

精神保健福祉士の原点と専門性の共有を求めて

KUMAMOTO

日程

2012年6月21日(木)~23日(土)
6月21日(木): プレ企画
6月22日(金)、23日(土): 第48回全国大会・第11回学術集会

会場

熊本県立劇場

[所在地] 熊本県熊本市大江2丁目7-1
[URL] <http://www.kengeki.or.jp>

【大会・学術集会参加費】 構成員(早割) / 8,000円 非構成員(早割) / 12,000円 学生(早割) / 5,000円
※その他の参加費区分の説明は、P18の「お申し込みのご案内」をご覧ください。
※早割申し込み締切は5月7日(月)となっております。

開催テーマ	1
開催のご挨拶	1
全国大会・学術集会プログラム	2
第9回通常総会	2
プレ企画	3
基調講演	6
特別講演	6
記念講演	7
懇親会(チラシ)	8
分科会1	9
分科会2	13
参加にあたって	16
主催・協力・後援一覧	17
お申し込みのご案内	18

問い合わせ先一覧

【社団法人日本精神保健福祉士協会事務局】

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F
電話:03-5366-3152 FAX:03-5366-2993 E-mail office@japsw.or.jp

【全国大会・学術集会事務局】 特別医療法人再生会 くまもと心療病院 相談科

〒869-0416 熊本県宇土市松山町1901
専用電話:090-6709-8911 FAX:0964-23-1395 E-mail soudan@k-shinryou.jp

【会 場】 熊本県立劇場

〒862-0971 熊本県熊本市大江2丁目7番1号
電話:096-363-2233 FAX:096-371-5246

【旅行会社】 名鉄観光サービス株式会社 熊本支店

〒860-0804 熊本県熊本市辛島町5-1(日本生命熊本ビル)
電話:096-354-4351 FAX:096-354-4359

※「障害」という表記につきまして、本冊子では講演者、発表者等の記載のとおりになっています。

開催テーマ

想いをつなごう くまもと大会 再生・創生・深化

～精神保健福祉士の原点と専門性の共有を求めて～

開催のご挨拶

第48回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第11回日本精神保健福祉士学会学術集会を熊本県で開催できますことを大変光栄に感じております。

大会テーマを「想いをつなごう くまもと大会 再生・創生・深化～精神保健福祉士の原点と専門性の共有を求めて～」とさせていただきます。

基調講演は、本協会会長の竹中秀彦氏に「精神保健福祉士の原点と専門性の共有を求めて」とのテーマでご講演いただき、記念講演は高次脳機能障碍「ぷらむ」熊本代表の一ノ瀬純二氏と当事者で歌手の一ノ瀬たけし氏をお迎えし、「僕を見て……高次脳機能障碍と向き合いながら」というテーマで、ご家族と当事者の想いを語っていただくことで、当事者に寄り添うという姿勢を改めて見つめなおす機会になればと思っております。

そして、精神保健福祉士の現在の課題をタイムリーに取り入れたプレ企画、ならびに分科会を設定しました。さらに、全国大会・学術集会や懇親会を通じてローカルな趣向を凝らしておりますので、「くまもとワールド」を堪能していただければ幸いです。

さて、本全国大会・学術集会は、本来であれば、福島県での開催が予定されていましたが、東日本大震災によって、急遽熊本県で開催する運びとなりました。通常約2年間での準備期間を要する全国大会を1年間で成し遂げなければならないという重責を抱えながら、準備を進めてまいりました。このような未曾有の東日本大震災が起きた今だからこそ、熊本で皆さま一人ひとりの想いをつなげ、精神保健福祉士の原点を再確認し、専門性を共有することができる有意義な大会にしたいと考えています。

結びに、今全国大会・学術集会を開催するにあたり、全国の皆さま、県内関係機関の皆さま、他多くの皆さまから、ご支援・ご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



第48回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会
第11回日本精神保健福祉士学会学術集会
全国大会・学術集会長 今野 えり子

全国大会・学術集会プログラム

6月21日 (木)	午前	受付	12:00	13:00	14:45	15:00	16:45	17:30~19:00 特別企画 映画「それでも、愛してる」試写会	
			プレ企画 1~3			プレ企画 4~6			
			プレ 1	災害支援活動と精神保健福祉士の役割について	休憩	プレ 4	スクールソーシャルワークと精神保健福祉士の専門性		
			プレ 2	社会的入院者の地域移行・地域定着支援～精神障害者の社会的復権に寄与する精神保健福祉士として～		プレ 5	4者(実習生・実習指導者・当事者・養成校教員)で考える精神保健福祉士の養成教育		
プレ 3	聴覚障害と精神保健福祉～現状を打破するための一歩として～	プレ 6	【初任者企画】新人の悩みを分か合い問題解決!						

6月22日 (金)	午前	9:00	9:30	10:00	10:15	11:15	11:30	12:15 昼食
		受付	開会式	休憩	基調講演:精神保健福祉士の原点と専門性の共有を求めて 講師:竹中秀彦 (京ヶ峰岡田病院・本協会会長)	休憩	特別講演:「精神保健福祉医療施策の現状と課題～精神保健福祉士に求めるもの～(仮題)」 講師:厚生労働省	
午後	13:15	記念講演:僕を見て…高次脳機能障害と向き合いながら 講師:一ノ瀬純二氏(高次脳機能障害「ぶらむ」熊本代表)・一ノ瀬たけし氏(歌手)			14:45	15:15	17:30	19:00~21:00
		休憩	第9回通常総会		移動	懇親会		

6月23日 (土)	午前	受付	9:20	9:50	12:00			
			分科会 1			休憩	15:30	15:45
			1-①	精神保健福祉援助実習・演習のあり方について				
			1-②	権利擁護の制度・普及啓発について				
			1-③	専門職教育のとりくみ				
			1-④	高齢および認知症の方への支援や制度				
			1-⑤	活動やリハビリテーションにおけるグループの活用				
			1-⑥	就労・雇用支援のとりくみ				
	1-⑦	早期支援とメンタルヘルスリテラシー						
	午後	13:00	分科会 2			15:30	15:45	
2-①			多職種チームアプローチ/アウトリーチ					
2-②			生活支援における権利擁護実践					
2-③			危機や疎外状況にある人への精神保健福祉士の支援					
2-④			医療機関における精神保健福祉士の実践や業務					
2-⑤			地域・まちづくりのさまざまなとりくみ					
2-⑥			リワーク支援やEAP領域における精神保健福祉士の役割					
2-⑦	スクールソーシャルワーカーの役割や課題							
					15:30	15:45		
					閉会式 (~16:15)			

第9回通常総会 6月22日(金) 15:15~17:30

総会は、構成員が協会の運営に関して自身の意思を伝えることができる大切な機会です。6月22日に熊本へお越しになっている構成員は、必ずご出席ください。

「総会受付」は休憩時間に複数回行う予定です。詳細は当日、本部事務局よりご案内いたします。

なお、2012年度ご入会の方には、本総会での議決権はありません。参加形態は「傍聴」となりますことをご承知おきください。

必須アイテム→



Membership card



会章



事前送付の議案書

プレ企画 1 災害支援活動と精神保健福祉士の役割について

【時間】13:00~14:45 【定員】100名 【形式】グループワーク形式

【司会】 木下 了丞(医療法人社団静心会 常盤台病院)

【コメンテーター】 廣江 仁(社会福祉法人養和会 障害福祉サービス事業所 F&Y境港)

【話題提供者】 社団法人日本精神保健福祉士協会 災害支援体制整備委員会委員

【内容】

2011年3月に発生した東日本大震災は想像を絶するような甚大な被害を生み、その復興には数十年単位での取り組みが必要といわれています。それ以外にも近年発生した、鹿児島や和歌山での水害、宮崎での火山活動による被害なども記憶に新しいところだと思います。

さて、それでは災害に遭遇した際にわれわれは何をすればよいのでしょうか。災害の規模や自身が置かれた状況によって異なるとは思いますが、専門職として何を考えどう行動すべきか。実際に災害支援活動に携わった経験がある人も、その経験がない人も、思う存分それぞれの思いを自由に語りあってみませんか。

**プレ企画 2 社会的入院者の地域移行・地域定着支援
～精神障害者の社会的復権に寄与する精神保健福祉士として～**

【時間】13:00~14:45 【定員】300名 【形式】シンポジウム形式

【コーディネーター】 岩上 洋一(特定非営利活動法人じりつ)

【シンポジスト】 調整中(相談支援事業所精神保健福祉士)

調整中(医療機関精神保健福祉士)

調整中(行政精神保健福祉士)

【内容】

社会的入院者の地域移行・地域定着支援の個別給付化に伴う課題には、退院意欲を表明できない人への支援、相談支援事業所の参入促進、専任職員・ピアサポーターの確保、市町村との協働、医療機関との連携、地域生活の継続に向けた支援体制の確立、都道府県の目標及び関係機関の役割の設定等があります。

精神障害者の社会的復権に寄与する精神保健福祉士として、地域移行・地域定着支援における期待される役割について、今後の制度改正も見据えて考えてみたいと思います。

プレ企画3 聴覚障害と精神保健福祉～現状を打破するための一歩として～

【時間】13:00～14:45 【定員】100名 【形式】シンポジウム形式

【コーディネーター】大塚 淳子(社団法人日本精神保健福祉士協会)

【パネリスト】(予定) 赤畑 淳(立教大学コミュニティ福祉学部)

西川 健一(特定非営利活動法人あさがお)

稲 淳子(精神障害者雇用トータルサポーター)

根間 洋治(医療法人天仁会 天久台病院)

高山 亨太(筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程)

【内容】

もし、あなたがソーシャルワーカーや医師に相談をしたい時に、自分の「コトバ」が相手に伝わらないとしたら、どんなことを感じるでしょうか？

ろう者、難聴者、中途失聴者といったさまざまな「きこえの保障」を必要とする方々が、十分な配慮を得ることなく精神保健福祉・医療を受けておられます。そのために「誤診」や「社会的入院のリスク」が高くなるとも言われています。また、地域の社会資源も限られていることから、孤立しやすいことも指摘されています。

聴覚障害を持つ方々への支援を避けてしまったりしていないでしょうか？そこで、本企画ではコミュニケーション保障の問題だけではなく、聴覚障害者が抱える問題や背景、その支援の実際についても知ることができるように、聴覚障害を持つ精神保健福祉士や聴覚障害を持つ方々への実践を行っている精神保健福祉士をシンポジストに迎え、皆さんと一緒に精神障害を持つ聴覚障害者を取り巻く現状について考えていきたいと思います。

プレ企画4 スクールソーシャルワークと精神保健福祉士の専門性

【時間】15:00～16:45 【定員】150名 【形式】シンポジウム形式

【シンポジスト】 江口 研一(熊本市教育委員会教職員課 課長補佐)

古閑 智子(熊本市教育委員会スクールソーシャルワーカー)

他1名(調整中)

【コーディネーター】赤星 香世子(熊本県精神保健福祉士協会顧問)

【内容】

スクールソーシャルワーク(SSW)における精神保健福祉士の活動が全国的に拡がりつつあります。学校現場での不登校、いじめ、暴力、虐待など様々な問題の背景に貧困、メンタルヘルスの問題等、子どもたちを取り巻く環境の厳しさが指摘されています。

思春期における精神障がい早期発見、早期治療の効果が報じられ、専門職のかかわりが求められている現在、SSWの対象となる子どもたちも様々な社会環境の中で生きづらさを抱え、ニーズを表現しにくい状況におかれています。今、児童思春期の教育現場における精神保健福祉士の役割は、その専門性、価値、技術において、期待されています。

本企画で、熊本県での取り組みを中心に、それぞれの立場からの報告を受けて、参加者の皆さんと予防的な意味も含めて子どもたちを取り巻く現状と精神保健福祉士の専門性について考えてみたいと思います。ぜひご参加ください。

プレ企画 5

4者(実習生・実習指導者・当事者・養成校教員)で考える 精神保健福祉士の養成教育

【時間】15:00～16:45 【定員】300名 【形式】シンポジウム形式

【コーディネーター】 岡田 洋一(鹿児島国際大学)

【シンポジスト】 養成校教員の立場から 茶屋道 拓哉(九州看護福祉大学)
実習指導者の立場から 原田 健一(桜が丘病院)
当事者の立場から 調整中
実習生の立場から 畦地 なつき(現 くまもと心療病院)

【指定発言者】 実習指導者の立場から 永池 富和(指宿竹元病院)

【内容】

精神保健福祉士の養成教育にかかる人的資源には、欠かすことのできない4者がいます。そこで、

- ①実習生が実践フィールドで当事者や実習指導者からどのような知見を得て、理論と結び付ける作業を行ったのか。
- ②また、その一連のプロセスに介入する実習指導者と養成校の教員は、お互いを意識しつつ、どのように一連のプロセスをマネジメントし、実習生に対して精神保健福祉士として必要な「知識・技術・価値・倫理」を落とし込んでいったのか。
- ③さらに、実習生を受け入れる存在であり、自らの体験を実習生と共有していく当事者は、どのような想いで実習生を捉え・関係を構築してきたのか。

同じフィールドで体験を共有したそれぞれの立場からの発言を行っていただく中で、養成教育について考えていきたいと思えます。

プレ企画 6

【初任者企画】新人の悩みを分ち合い問題解決!

【時間】15:00～16:45 【定員】50名 【形式】グループワーク形式

【対象】経験年数3年程度までの精神保健福祉士等

【内容】

新人の時は、自分がかかわっているケースに「これでいいのかな?」「先輩に相談したけど注意されてしまい、どうかかわって行こうか不安」というように悩んだり、自信が持てなかったりします。専門職として支援の方法が思いつかなかったり、他職種の使う言葉に違和感を持ちながらも日々の業務に追われたりしがちです。

忙しさのため、一人よがりの支援になっていませんか?

多角的な見方、いろんな発想があることに気づかないまま過ごしていませんか?

そこで皆さんに、ストレングスの視点をもって、「質より量」「批判禁止」「自由な発想」をキーワードに、グループワークを体験していただきたいと思えます。

全国から集まるこの機会に、初任者のフレッシュな発想で精神保健福祉士として幅広い視点を持てるようなグループワークを考えています。

特別企画

6月21日(木) 17:30~19:00

試写会
無料

「それでも、愛してる」 -原題「THE BEAVER」-

監督:ジョディ・フォスター 主演:メル・ギブソン

STORY

アメリカ映画で「うつ病」の問題を描いた作品です。夫として、父として“うつ病”という怪物と戦った男の奇妙な人生のひとつコマ。彼を救ったのは一匹のビーバー人形!?

幸せだった家庭でも孤立、苦境にある玩具会社では2代目経営者として悪戦苦闘!抑えきれぬ心の叫びが、男の代わりにビーバー人形の口からあふれると、周囲からは奇異な眼で見られるが……。果たして、主人公の運命は?



©ツイン

基調講演

6月22日(金) 10:15~11:15

〈演題〉「精神保健福祉士の原点と専門性の共有を求めて」

〈講師〉竹中秀彦 (京ヶ峰岡田病院 PSW部・リハビリテーション部長、
社団法人日本精神保健福祉士協会会長)



精神保健福祉士法が成立し十数年が経過しようとしている現在、精神保健福祉士の所属や業務も精神保健医療福祉の分野にとどまらず、労働、司法、教育などを含め、広範囲多岐に渡ってきています。このような時期に精神保健福祉士の原点を再確認し、専門性を共有することが必要ではないかと考えます。

今回の講演で、本協会会長竹中秀彦が自らの実践を通して「精神保健福祉士の原点と専門性の共有を求めて」というテーマで講演いたします。

特別講演

6月22日(金) 11:30~12:15

〈演題〉「精神保健福祉医療施策の現状と課題

～精神保健福祉士に求めるもの～(仮題)」

〈講師〉厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課(予定)

〈テーマ〉「僕を見て・・・高次脳機能障害と向き合いながら」

〈講師〉 高次脳機能障害「ぷらむ」熊本代表 一ノ瀬純二氏 歌手 一ノ瀬たけし氏

18歳の春、突然の心臓発作で12分間の心肺停止状態から奇跡的に蘇生しましたが、後遺症として高次脳機能障害を抱えました。病名にも辿り着かず周囲からの理解も得難いまま、本人も自覚しにくいために「なまけもの」「うそつき」という誤解に苦しみました。発病48日目から自宅介護を中心として家族全員であらゆる可能性に挑戦しながら今日に至りました。

2004年には熊本県内に高次脳機能障害「ぷらむ」熊本を立ち上げて、多くの仲間と共に将来への希望を養いつつ日々前進しています。本人の自発性や生き甲斐や意欲を第一優先にすることで生きる力を養ってきましたし、お互いが認め合い、支え合い、励まし合いの立場でここまで継続してきました。たけし自身の生き甲斐は大好きな歌を歌うことだったのです。

その結果として発病10年目から歌手活動に取り組んできました。たけしの母がそれまでの介護日誌として『生きている奇跡』という本を出版しましたが、その本がきっかけとなりTV番組『奇跡体験!アンビリバボー』でも紹介されました。それまでは熊本県内を中心とした活動でしたが、TV放送の後には九州全域から全国規模にまで拡がりつつあります。リズム・メロディー・歌詞を同時に表現することすら充分ではなく、ひたすら純真さ・素朴さだけですが、何かを感じていただければ幸いです。そして、この高次脳機能障害という病気への理解と、たけしの生きる力として、また生かされている命を支えてくださる皆様への感謝の気持ちでこの活動を行っています。



■ 講師(一ノ瀬 純二氏)プロフィール

- 1973年 高校卒業と同時に家業「一ノ瀬鮮魚店」の後継者となる
- 2004年 高次脳機能障害「ぷらむ」熊本設立
- 2006年 「一ノ瀬鮮魚店」を廃業、115年の経営に幕を引く
- 現在は、高次脳機能障害「ぷらむ」熊本の代表として活動中

■ 歌手(一ノ瀬 たけし氏)プロフィール

- 1977年 熊本県山鹿市生まれ
- 1996年 心臓発作で倒れる。高次脳機能障害を負う
- 2006年 歌手活動開始・山鹿市民センターでデビューコンサート
- 2007年 TV放送(NHK)。1周年ありがとうコンサートin八千代座
- 2010年 『奇跡体験!アンビリバボー』TV出演
- 2011年 J2 開幕戦「ロアッソ熊本VS東京ヴェルディ」KKウイングにて国歌斉唱
熊本県精神保健福祉大会出演
TVコマーシャル初出演(12月～)
その他、熊本県内外の各種講演・コンサートを展開中

くまもとサブライズキャラクター「くまモン」

くまもとサブライズ熊本県認可 第2372号



熊 素敵な出会いと感動は
本から始まる



2012年6月22日(金)
19:00から21:00まで
熊本ホテルキャッスル
参加費7,500円



懇親会

熊本大会

1-① 精神保健福祉援助実習・演習のあり方について

定員:300名

- 1 実習指導の実態調査～院内における実習指導ガイドライン作成をめざして～
○小栗 直美・山本 淳子(南知多病院)、大谷 京子・寺澤 法弘(日本福祉大学)
- 2 精神保健福祉士養成に伴う精神保健福祉援助実習指導に関する一考察
～実習指導者講習会受講修了後の実習指導者が求めることに着目して～
○徳安 優一・大久保 愛(専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ)
- 3 精神保健福祉援助演習における事例作成の方法と意義
○杉原 努(佛教大学 福祉教育開発センター)
- 4 精神保健福祉士養成における今後の実習教育のあり方に関する研究
～実習生の自己評価に着目して～
○小沼 聖治・小島 寛・齊藤 晋治・杉本 浩章(日本福祉大学)
- 5 ソーシャルワーク実践と専門価値～アンケート調査より～
○小久保 志乃(日本福祉医療専門学校)、花澤 佳代(新潟青陵大学)

1-② 権利擁護の制度・普及啓発について

定員:300名

- 1 精神障害者の虐待防止～事例調査の結果から～
○金成 透(所沢慈光病院)、岩崎 香(早稲田大学人間科学学術院)、伊藤 亜希子(東京武蔵野病院)、木津 英昭(障害者福祉サービス事業所ころの風元気村)、高村 智子(サンライフたきの里)、田波 裕美(横浜丘の上病院)、三木 良子(東洋大学)、中川 さゆり(地域生活支援センタープラザ)、壬生 明日香(広島国際大学)、宮崎 まさ江(長野大学)
- 2 精神障害者の障害年金受給を保障するためのシステム構築
～精神保健福祉士の役割と専門性に着目して～
○青木 聖久(日本福祉大学)
- 3 入院患者における成年後見制度活用の社会的意義～市町村長申立て支援を通じて～
○伊藤 志麻穂(草津病院)
- 4 精神科病院に入院中の権利についてのパンフレット作成をとおして
～認定NPO法人大阪精神医療人権センターの活動～
○壬生 明日香(広島国際大学)、上坂 紗絵子(大阪精神医療人権センター)、竹端 寛(山梨学院大学)、吉池 毅志(大阪人間科学大学)
- 5 スウェーデンにおけるパーソナル・オンブズマンに関する調査報告
○岩崎 香(早稲田大学人間科学学術院)

- 1 多機関連携におけるリフレクティング・プロセスの応用Ⅰ～理論的背景と実践の枠組～
○矢原 隆行(広島国際大学)、光岡 美里・知花 絵美・三根 卓・森岡 知江
白神 典子・森野 秀也(呉やけやま病院)、石橋 沙央理(ふれんずサポートセンター)、
佐藤 真由美・小川 彩・木島 彩(ほうゆう病院)
- 2 多機関連携におけるリフレクティング・プロセスの応用Ⅱ
～事例の概要と実践の流れ～
○木島 彩・佐藤 真由美・小川 彩(ほうゆう病院)、光岡 美里・知花 絵美
三根 卓・森岡 知江・白神 典子・森野 秀也(呉やけやま病院)、
石橋 沙央理(ふれんずサポートセンター)、矢原 隆行(広島国際大学)
- 3 多機関連携におけるリフレクティング・プロセスの応用Ⅲ
～事例提供者の視点から見た本実践の効果～
○石橋 沙央理(ふれんずサポートセンター)、光岡 美里・知花 絵美・三根 卓
森岡 知江・白神 典子・森野 秀也(呉やけやま病院)、佐藤 真由美・小川 彩
木島 彩(ほうゆう病院)、矢原 隆行(広島国際大学)
- 4 多機関連携におけるリフレクティング・プロセスの応用Ⅳ
～スーパービジョンにもたらす効果～
○佐藤 真由美・小川 彩・木島 彩(ほうゆう病院)、光岡 美里・知花 絵美
三根 卓・森岡 知江・白神 典子・森野 秀也(呉やけやま病院)、
石橋 沙央理(ふれんずサポートセンター)、矢原 隆行(広島国際大学)
- 5 多機関連携におけるリフレクティング・プロセスの応用Ⅴ
～通院医療機関における担当精神保健福祉士の引き継ぎへの効果～
○知花 絵美・光岡 美里・三根 卓・森岡 知江・白神 典子
森野 秀也(呉やけやま病院)、石橋 沙央理(ふれんずサポートセンター)、
矢原 隆行(広島国際大学)、佐藤 真由美・小川 彩・木島 彩(ほうゆう病院)
- 6 精神保健福祉士のケアマネジメント技術における評価シートを通じた効果測定
○武藤 大司(芦屋メンタルサポートセンター)

- 1 若年性認知症の本人とその家族の抱えるニーズと支援課題
○金子 努(県立広島大学)
- 2 精神科急性期治療病棟における精神保健福祉士の役割
～高齢患者の退院支援からみえてきたもの～
○藤田 恵未(総合心療センターひなが)
- 3 認知症専門病院における長期入院患者の退院支援とその課題
○工藤 智子・齋藤 恭果・長谷川 倫子・石谷 万代(横浜ほうゆう病院)

- 4 認知症専門病院における精神保健福祉士の10年
○田中 裕美・小椋 瞳・水元 佳子(たけとう病院)
- 5 平成23年度障害者総合福祉推進事業「精神症状等を有する認知症患者に係る退院支援モデルパス等の地域連携の推進に関する調査事業」報告
○國重 智宏・大塚 淳子(日本精神保健福祉士協会)、岩尾 貴(石川県庁)、三溝 園子(昭和大学附属烏山病院)、塩路 直子(順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター)、高村 智子(加賀市地域包括支援センター)、東 裕紀(サンライフたきの里)、山本 めぐみ(浅香山病院)、東海林 崇(浜銀総合研究所)

1 - ⑤

活動やリハビリテーションにおけるグループの活用

定員:120名

- 1 民間企業にて就労経験のある精神保健福祉士による復職支援
○海老原 勇二(西脇病院)
- 2 グループワーク実践報告Ⅰ～グループワークの効果と意義～
○小山 陽香・木下 英奈・橋本 直美(耕房“輝”)
- 3 グループワーク実践報告Ⅱ～グループワークの効果と意義～
○木下 英奈・小山 陽香・橋本 直美(耕房“輝”)
- 4 ワールド・カフェで語る「PSWが元気であるためにどうありたいか」
～第26回中四国精神保健福祉士大会で行ったグループワークの報告～
○木本 達男(岡山市保健所)、黒岡 真澄(岡山県精神科医療センター)、向所 優希・柚木 奈津美(河田病院)、小椋 有夏(万成病院)、横山 なおみ(旭川荘厚生専門学院)
- 5 生活訓練施設から障害福祉サービス事業所へ移行して見えてきたもの
～事業移行を経て変わったこと、変わらなかったこと～
○木津 英昭・山里 美由紀・鈴木 まみ・清宮 厚・小川 智明(障害福祉サービス事業所こころの風元気村)

1 - ⑥

就労・雇用支援のとりくみ

定員:70名

- 1 発達障害者の就労支援について～障害者就業・生活支援センターの役割～
○竹下 友博・城戸 美智代(熊本県有明障害者就業・生活支援センターきずな)
- 2 ジョブガイダンスを通じた公共職業安定所とデイケアの連携による就労支援
○太田 幸治(大和公共職業安定所)
- 3 一般就労における障害の開示に関する考察～障害当事者と雇用主との比較から～
○谷奥 大地・森 克彦・益 絢子・鑑光 さおり・藤村 ゆかり・川崎 祐子(アンダンテ就労ステーション)

- 4 中小企業家同友会での活動を通じたの障害者雇用促進にむけた取り組み
○岩崎 諭史(びあ三浦)
- 5 国際生活機能分類を用いた精神障害者の就労支援に関する研究—考察
○森谷 就慶(東北文化学園大学)

1-⑦ 早期支援とメンタルヘルスリテラシー

定員:120名

- 1 精神疾患早期支援事業における精神保健福祉士の役割
～YESnet(四日市早期支援ネットワーク)の実践より～
○宮越 裕治(ささがわ通り 心・身クリニック/総合心療センターひなが)
- 2 中学校における精神保健授業の取り組み
○山本 綾子・足立 孝子(三重県立こころの医療センター)
- 3 PTAのメンタルヘルスリテラシー
○足立 孝子(三重県立こころの医療センター)
- 4 親にメンタルヘルス問題がある児童福祉施設入所児童への家庭復帰支援
～家庭支援専門相談員および精神保健福祉士の認識に着目して～
○松宮 透高(県立広島大学)
- 5 精神保健福祉現場における職員のメンタルヘルス調査から見えてくるもの
○大岡 由佳(武庫川女子大学)

分科会 2

6月23日(土) 13:00～15:30

2-① 多職種チームアプローチ/アウトリーチ

定員:300名

- 1 多職種連携による行動制限最小化～精神科急性期治療病棟における取り組み～
○守谷 知晃・中田 弥生・山下 峻(有馬高原病院)
- 2 アウトリーチで精神保健福祉士に求められること
～ACTにおける医療中断介入のケースを通じて～
○金井 浩一・石川 三絵・橋本 東代子・高木 俊介(たかぎクリニック)、
三品 桂子(花園大学/京都メンタルケア・アクション)
- 3 アウトリーチで求められるチーム構造～精神保健福祉士の観点から～
○梁田 英麿・佐藤 美穂・柴田 知帆・笠原 陽子・鈴木 司(東北福祉大学 せんだん
ホスピタルS-ACT)
- 4 精神保健福祉士の多職種連携に係るコンピテンシーの一考察～A県における結果をもとに～
○光岡 美里(呉やけやま病院)

- 5 アウトリーチ支援における出会いのスキル
○三品 桂子(花園大学/京都メンタルケア・アクション)
- 6 英国Assertive Outreach Teamにおける家族支援～単家族への訪問家族心理教育～
○佐藤 純(京都ノートルダム女子大学)

2-②

生活支援における権利擁護実践

定員:300名

- 1 精神・知的の重複障害者を支える地域連携ネットワーク
～虐待をする家族からの擁護に第三者後見人を申し立てた事例～
○筒井 亜以子・桧枝 和広・浦崎 真澄・川口 満希(大島病院)
- 2 被虐待経験のある親の行動特性と生活支援
○川崎 未由希・片山 淳一(ニキハーティーホスピタル)
- 3 転院調整における精神保健福祉士のジレンマ
～総合病院精神科における精神保健福祉士の役割～
○小谷 尚子(徳島県立中央病院)、富島 喜揮(四国学院大学)
- 4 「地域で生きる」を支える～家族との関係の中で～
○三好 恵里子(ワーナーホーム)
- 5 長期入院者の退院支援・地域定着のあり方を考察する～支援事例を通して～
○小野 雅恵・藤村 真紀子・藤原 隆之・榊原 崇・佐藤 恵(岩手晴和病院)
- 6 当事者の力と地域のネットワーク～地域移行支援の事例を通して～
○田原 泉(大隅病院)

2-③

危機や疎外状況にある人への精神保健福祉士の支援

定員:70名

- 1 東日本大震災に被災した精神科病院での実践報告
～地震・津波・原発事故の影響の中で見えてきたもの～
○阿部 昌之・鈴木 恵利子・本田 教一(舞子浜病院)
- 2 喪失環境にある中高年者の福祉的支援～孤から弧へのアプローチ～
○田中 聡史(くまもと心療病院)
- 3 自殺予防における精神保健福祉士と司法書士の連携について2～実践報告～
○吉野 比呂子(向島保健センター)
- 4 精神障害者の権利擁護～兵庫県弁護士会との連携について～
○渡邊 宣子・山本 健一・奥井 陽子・美藤 早苗(兵庫県精神保健福祉士協会)

- 5 精神保健福祉領域での手話通訳の現状と課題～アラバマ州での取り組みから～
○高山 亨太(筑波大学大学院博士後期課程)
- 6 精神保健福祉士が難民の暮らし・こころ・福祉にかかわれること
～難民として日本に来た人たちへのインタビューを通して～
○三木 良子(東洋大学)、高橋 智美(東邦大学医療センター佐倉病院)

2-④

医療機関における精神保健福祉士の実践や業務

定員:200名

- 1 知的障害を併せもつアルコール依存症者への支援ネットワーク作り
○中島 健一・鍋田 みねこ・浜守 大樹・石倉 直美(谷野呉山病院)、
宮部 真弥子(脳と心の総合リハビリテーションセンター)
- 2 病院家族会の状況の変化と支援する精神保健福祉士の視点を考える
～「まつかぜ会」の実践を振り返って～
○大歳 明子・森野 杏子・中原 早苗・竹内 綾子(賀茂精神医療センター)
- 3 病棟建替えを機に精神科病院の歴史を振り返る～精神保健福祉士の視点から～
○竹内 葵・小山 友理子(三方原病院)
- 4 大学病院精神科病棟における精神保健福祉士の役割に関する考察
～4年間の実践を振り返って～
○藤澤 由美(神戸大学医学部附属病院)
- 5 高松病院における個別援助業務の現状から今後の援助のあり方を検討する
○谷崎 友恵・石井 了恵・川端 千恵子・山川 透・吉田 麻実子・新田 志津代
(石川県立高松病院)
- 6 精神科病院における精神保健福祉士の組織活動の実践プロセス
～精神保健福祉士の「役割形成」に関するM-GTA分析結果より～
○岩本 操(武蔵野大学)

2-⑤

地域・まちづくりのさまざまなとりくみ

定員:120名

- 1 グループホームを使った単身生活者への生活支援～地域で暮らすということ～
○井藁 元子(ホームみらい)、光本 一郎(ホーム青和荘)、荒瀬 礼子
(ホームゆうゆう)、原田 雅美・高松 信(たかつ生活支援センターまんまる)
- 2 「居場所」に関するニーズ調査を行ってみてきたもの
○村上 貴栄(関西医科大学附属滝井病院/守口市自立支援協議会精神障害者支援部会)
- 3 精神障害者に対する差別・偏見を軽減するために歴史教育は有効か
～意識調査をもとに精神保健福祉行政史を伝えることの有効性を探る～
○宮沢 和志(名古屋医専)

- 4 市町村精神保健福祉業務10年間の変遷
～精神保健福祉士へのインタビュー調査からの考察～
○栗原 浩之(上尾市役所)、高原 優美子(国立精神神経医療研究センター)、
増見 尊行(スペースきずな)、矢野 全紀(東栄国際学園)
- 5 誰もが住み良い「まち」を実現するために、精神保健福祉士としてできること
～広島県三原市障害者プラン策定に参与して～
○長谷部 隆一(地域生活支援センターさ・ポート)
- 6 共生型福祉施設における地域住民の支え合いと精神障がい者支援
○前山 憲一・徳山 勝(半田市社会福祉協議会)

2 - ⑥

リワーク支援やEAP領域における精神保健福祉士の役割

定員:70名

- 1 人生の再設計とそれを支える精神保健福祉士の役割
～うつ病患者の復職支援の取り組みから～
○齋中 康人(かまだメンタルクリニック)、富島 喜揮(四国学院大学)
- 2 精神保健福祉士の支援技術～従業員支援プログラムサービスを通じて～
○山田 妙詔(ヒューマネージ)
- 3 EAPにおける精神科ソーシャルワークの重要性
○齋藤 敏靖(東京国際大学)、佐藤 恵美(神田東クリニック/MPSセンター)、
真船 浩介(産業医科大学)、春日 未歩子(ジャパンEAPシステムズ)
- 4 EAPにおける精神保健福祉士の役割と機能
○佐藤 恵美(神田東クリニック/MPSセンター)、齋藤 敏靖(東京国際大学)、
真船 浩介(産業医科大学)、
春日 未歩子(ジャパンEAPシステムズ)
- 5 EAPにおける精神保健福祉士の専門性
～相談データの分析と現職精神保健福祉士へのアンケート調査から～
○春日 未歩子(ジャパンEAPシステムズ)、齋藤 敏靖(東京国際大学)、
佐藤 恵美(神田東クリニック/MPSセンター)、真船 浩介(産業医科大学)
- 6 産業保健分野における精神保健福祉士の活動領域
○真船 浩介(産業医科大学)、佐藤 恵美(神田東クリニック/MPSセンター)、
齋藤 敏靖(東京国際大学)、春日 未歩子(ジャパンEAPシステムズ)

2 - ⑦

スクールソーシャルワーカーの役割や課題

定員:120名

- 1 スクールソーシャルワークにおける児童虐待支援事例の実践報告
○池田 恵子・木谷 雅彦(入間市教育委員会)、北澤 一樹(川口市教育委員会)

- 2 スクールソーシャルワーカーのあり方に関する一考察
○天野 敬子(不登校・ひきこもり研究所)
- 3 スクールソーシャルワークにおけるアセスメントのポイントについて
○西 友子(大阪樟蔭女子大学)
- 4 学校システムを活かした不登校支援の在り方について
○大西 良(久留米大学 比較文化研究所)
- 5 大学内ハラスメント相談センターにおける精神保健福祉士の役割
～加害・被害関係が生じた時の支援～
○小川 智美・中澤 未美子・葛 文綺(名古屋大学)

演題名や発表者・所属については、2012年2月23日現在時点の予定となっております。
今後、内容に変更が生じる可能性があります。

参加にあたって

■情報保障について

6月22日:手話通訳・要約筆記あり

6月21、23日:ご希望に応じて調整いたします。

※インターネット・FAXでのお申込み時に、備考欄へご希望をお書きください。

■撮影・録音について

会場内における撮影・録音は、全国大会・学術集会事務局や登録された報道関係者、全国大会・学術集会長が許可した方に限ります。

なお、分科会発表者ご自身は、発表に際して「共同発表者または関係者が撮影・録音をする」旨を会場内にアナウンスしていただいた場合に限り、撮影・録音を許可いたします。その他の撮影・録音は固くお断りいたします。

許可のない撮影・録音行為が認められた場合、会場スタッフが記録媒体からデータの消去等、然るべき対応を取らせていただきますことをご了承ください。

■その他

会場内では、携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定いただき通話はお控えください。他の参加者へご配慮くださいますようお願いいたします。

参加される皆さまが関係するイベント等の周知の機会として、会場内には自由配布コーナーを設けております。どうぞご利用ください。

主催・協力・後援一覧

【主催】 社団法人日本精神保健福祉士協会（日本精神保健福祉士学会）

【協力】 社団法人日本精神保健福祉士協会熊本県支部
熊本県精神保健福祉士協会

【後援】（予定含む）

厚生労働省、熊本県、熊本市、社団法人日本精神科病院協会、社団法人日本精神神経科診療所協会、社団法人日本医師会、社団法人日本精神科看護技術協会、公益社団法人日本看護協会、財団法人日本精神衛生会、日本病院・地域精神医学会、社団法人日本作業療法士協会、社団法人日本理学療法士協会、一般社団法人日本言語聴覚士協会、日本障害者協議会、日本障害フォーラム、公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会、特定非営利活動法人障害者インターナショナル日本会議、特定非営利活動法人全国精神障害者地域生活支援協議会、特定非営利活動法人全国精神障害者団体連合会、公益社団法人全国精神保健福祉会連合会、特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構・コンボ、全国精神障害者社会福祉事業者ネットワーク、一般社団法人全国精神保健福祉事業連合、社団法人日本てんかん協会、一般社団法人日本発達障害ネットワーク、きょうされん、社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会、全国救護施設協議会、全国精神保健福祉相談員会、特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会、社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本医療社会福祉協会、日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会、日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会、社団法人日本介護福祉士会、特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会、一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会、社団法人日本社会福祉教育学校連盟、社団法人日本社会福祉士養成校協会、社団法人日本精神神経学会、一般社団法人日本総合病院精神医学会、社団法人全国自治体病院協議会、全国保健・医療・福祉心理職能協会、日本児童青年精神医学会、日本集団精神療法学会、日本精神保健看護学会、日本臨床心理学会、日本デイケア学会、国立精神医療施設長協議会、全国精神保健福祉センター長会、全国保健所長会、全国衛生部長会、公益社団法人認知症の人と家族の会、公益社団法人日本認知症グループホーム協会、公益社団法人全国老人保健施設協会、公益社団法人全国老人福祉施設協議会、SST普及協会、社団法人日本精神保健福祉連盟、日本精神障害者リハビリテーション学会、日本職業リハビリテーション学会、特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会、社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会、財団法人日本知的障害者福祉協会、社会福祉法人中央共同募金会、更生保護法人日本更生保護協会、日本弁護士連合会、日本司法書士会連合会、社団法人成年後見センター・リーガルサポート、財団法人社会福祉振興・試験センター、株式会社福祉新聞社、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本保護観察所、九州精神科病院協会、熊本県医師会、社団法人熊本市医師会、社団法人熊本県精神科病院協会、社団法人熊本県精神保健福祉協会（熊本こころの電話）、熊本県精神科病院協同組合、熊本県精神神経科診療所協会、社会福祉法人熊本県社会福祉協議会、社団法人熊本県歯科医師会、社団法人熊本県薬剤師会、社団法人熊本県看護協会、特例社団法人日本精神科看護技術協会熊本県支部、熊本県医療ソーシャルワーカー協会、公益社団法人熊本県作業療法士会、社団法人熊本県社会福祉士会、熊本県介護福祉士会、熊本県臨床心理士会、熊本県言語聴覚士会、熊本県介護支援専門員協会、一般社団法人熊本県栄養士会、社団法人熊本県理学療法士協会、社会福祉法人熊本いのちの電話、熊本障害者職業センター、社団法人熊本県精神障害者福祉会連合会、熊本県精神障害者社会復帰施設協議会、熊本県精神障害者団体連合会、特定非営利活動法人熊本県断酒友の会、特定非営利活動法人熊本DARC、高次脳機能障碍「ぷらむ」熊本、NHK熊本放送局、株式会社熊本県民テレビ、株式会社熊本放送、株式会社テレビ熊本、株式会社熊本日日新聞社、熊本朝日放送株式会社、株式会社朝日新聞社熊本総局、読売新聞西部本社熊本支局（順不同）

お申し込みのご案内

歓迎のご挨拶

謹啓 皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度『第48回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第11回日本精神保健福祉士学会学術集会』が、熊本県にて開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

さて、全国各地より大会にご参加いただく皆様に当地にお迎えするにあたりまして、名鉄観光サービス(株)熊本支店にて宿泊・弁当等のお世話をさせていただくこととなりました。

私共、熊本支店職員一同総力を挙げ万全の体制をもって取組み、ご満足のいただける大会でありますよう誠心誠意尽力いたす所存でございます。

つきましては、記載のとおりご案内させていただきますので、お早めにお申込みくださいますようお願い申し上げます。

職員一同、皆様方のご来県を心よりお待ちしております。

謹白

名鉄観光サービス株式会社
熊本支店
支店長 吉田 政敏

■参加費

※必須(3日間参加/選択参加のいずれかをお選びください)

区分	3日間参加	
	プレ企画+大会・学術大会 早割(★1)	通常
構成員(★2)	10,000円	12,000円
非構成員	14,000円	16,000円
学生(★3)	6,000円	7,000円

プレ企画のみ	選択参加 大会・学術集会のみ	
	早割(★1)	通常
3,000円	8,000円	10,000円
3,000円	12,000円	14,000円
2,000円	5,000円	6,000円

※任意

オプション	
懇親会	7,500円
お弁当	500円~800円
宿泊・ツアー	選択内容による
保険	500円

※必須

登録代行手数料(★4)
525円

- ★1:「早割参加費」は、インターネット・FAXともに5月7日(月)24:00までの申込みが対象となります。
(インターネット申込はWEB上での申込が完了していること、FAX申込は名鉄観光サービス(株)熊本支店へ着信していることが条件です)
- ★2:「構成員」とは、社団法人日本精神保健福祉士協会に入会している方のことです。
- ★3:構成員の方は、「学生」区分での参加はできません。
- ★4:「登録代行手数料」は、参加者への通信費等の経費であり、大会主催者事務局からの依頼に基づき、名鉄観光サービス(株)熊本支店が代行収受するものです。

■国内旅行傷害保険のご案内

【5日間:6月20日(水)~24日(日)】保険料/500円

大会参加中のお怪我や盗難など、万が一の場合に下記の内容を補償いたします。

死亡・後遺障害	入院日額	通院日額	賠償責任	携行品	救援者費用
835万円	5,000円	3,000円	3,000万円	10万円	50万円

■ご宿泊

熊本市内の宿泊施設をご用意しております。

○宿泊日:2012年6月20日(水)・21日(木)・22日(金)・23日(土)

○宿泊条件:1泊朝食付、サービス料・消費税込(一部、軽食のホテルもございます)

施設 記号	宿泊施設名	部屋タイプ・宿泊料金				大会会場へのアクセス
		シングル	申込記号	ツイン	申込記号	
①	ホテル日航熊本	¥12,000-	S-①	¥10,000-	T-①	都市バス「通町筋」より経由番号「鹿1」または「新1」にて約15分
②	熊本ホテルキャッスル		S-②		T-②	都市バス「通町筋」より経由番号「鹿1」または「新1」にて約15分
③	熊本全日空ホテル ニュースカイ		S-③		T-③	都市バス「熊本駅前」より経由番号「駅3」にて約30分
④	熊本和数奇司館		S-④		T-④	都市バス「通町筋」より経由番号「鹿1」または「新1」にて約15分
⑤	ホテルニューオータニ 熊本	¥9,000-	S-⑤	¥8,000-	T-⑤	都市バス「熊本駅前」より経由番号「駅3」にて約30分
⑥	ドーミーイン熊本		S-⑥		T-⑥	都市バス「交通センター」より経由番号「鹿1」または「新1」にて約20分
⑦	熊本交通センター ホテル	¥8,000-	S-⑦	¥7,000-	T-⑦	都市バス「交通センター」より経由番号「鹿1」または「新1」にて約20分
⑧	チサンホテル熊本		S-⑧		T-⑧	都市バス「交通センター」より経由番号「鹿1」または「新1」にて約20分
⑨	熊本東急イン		S-⑨		T-⑨	都市バス「交通センター」より経由番号「鹿1」または「新1」にて約20分
⑩	三井ガーデンホテル 熊本		S-⑩		T-⑩	都市バス「交通センター」より経由番号「鹿1」または「新1」にて約20分
⑪	JR九州ホテル熊本		S-⑪		T-⑪	都市バス「熊本駅前」より経由番号「駅3」にて約30分
⑫	熊本ワシントンホテル プラザ		S-⑫		T-⑫	都市バス「交通センター」より経由番号「鹿1」または「新1」にて約20分
⑬	東横イン熊本新市街	¥7,000-	S-⑬	設定なし		都市バス「交通センター」より経由番号「鹿1」または「新1」にて約20分
⑭	東横イン熊本城 通町筋		S-⑭			都市バス「通町筋」より経由番号「鹿1」または「新1」にて約15分

(名鉄観光サービス(株)熊本支店が企画・実施する募集型企画旅行です)

■オプションツアーのご案内／6月23日(土)～24日(日)※最少催行人数25名(添乗員同行)

【申込番号 A】 日本三大急流「球磨川下り」と「国宝青井阿蘇神社」・人吉温泉の旅
4名1室 お一人様 29,000円 (3名1室:1,000円追加、2名1室:2,000円追加)

6/23 (土)	貸切バス 熊本市内 ===== 人吉温泉(泊) 16:00頃出発 17:30頃着		朝× 昼× 夜○
6/24 (日)	貸切バス ホテル ===== 球磨川下り ===== 球泉洞 ===== 09:40 10:30~12:00 12:10~13:30	<急流コース> ===== 国宝青井阿蘇神社 ===== 交通センター ===== 熊本駅 14:00~14:30 16:00頃 16:20頃	昼食・ショッピング 朝○ 昼○ 夜×

【申込番号 B】 国指定重要文化財「八千代座」と美肌の湯・平山温泉の旅
4名1室 お一人様 25,000円 (3名1室:1,000円追加、2名1室:2,000円追加)

6/23 (土)	貸切バス 熊本市内 ===== 平山温泉(泊) 16:00頃出発 17:30頃着		朝× 昼× 夜○
6/24 (日)	貸切バス ホテル ===== 八千代座 ===== 灯籠民芸館 ===== <昼食> ===== 09:30 10:00~11:00 11:10~11:40 11:50~12:50	山鹿蔵めぐり ===== <酒蔵・醤油蔵・味噌蔵など> ===== 交通センター ===== 熊本駅 13:00~14:30 16:00頃 16:20頃	朝○ 昼○ 夜×

※参加者が25名に満たない場合は催行中止となります。天候その他の事由により実施困難な場合は催行中止となる場合がございます。旅行行程は、交通事情など運行会社の管理できない事由により変更になる場合がございます。

■ご予約弁当:6月22日(金)・23日(土)

会場付近にはお食事場所が少ないため、お申込み受付順によるご予約弁当をご用意しております(当日販売なし)。限定数に達した場合は調整させていただく場合がございます。ご了承ください。

〈2日間共通メニュー〉

※旅行契約ではありません

申込記号	お弁当～内容～	販売数量	金額
ア	“めぐみ学園”の「りんどうポークの生姜焼丼+お茶(紙パック) * 熊本の緑豊かな大地と天然ビタミン・ミネラルで育った「りんどうポーク」と熊本のおいしいお米	1日限定 150食	500円
イ	“食房ステップワン”の「熊本海の幸山の幸弁当」+お茶(ペットボトル) * 馬肉ハンバーグ・鮎甘露煮・辛子蓮根・八代トマト・いきなり団子など熊本名物満載!	限定数 無し	800円
ウ	「高菜ピラフの中華弁当」+お茶(紙パック) * 熊本名物・高菜漬けのピラフ! デザートには、いきなりだんごをどうぞ	限定数 無し	800円
エ	「きこのデミハンバーグの洋風弁当」+お茶(紙パック) * きこのデミグラスソースハンバーグ・海老フライ・ナポリタン・コロッケ・熊本のおいしいお米	限定数 無し	800円
オ	「和風色彩弁当」+お茶(紙パック) * 5つのマスに熊本名物を入れた楽しさあふれる和風のお弁当	限定数 無し	600円
カ	「チキン南蛮弁当」+お茶(紙パック) * チキン南蛮・ナポリタン・野菜コロッケ・ポテトサラダ・熊本のおいしいお米	限定数 無し	600円
キ	「熊本産 鶏てりマヨ丼」+お茶(紙パック) * 鶏てりマヨ丼(熊本の豊かな大自然に育まれた鶏肉と卵を使用)	限定数 無し	600円
ク	「手作りサンドイッチ弁当」+お茶(紙パック) * お手軽に食べられるお弁当	限定数 無し	600円

申込記号【ア】



りんどうポークの生姜焼丼
500円

申込記号【イ】



熊本海の幸山の幸弁当
800円
弁当サイズ 24X24cm

申込記号【ウ】



高菜ピラフの中華弁当
800円
弁当サイズ 21.5X21.5cm

申込記号【エ】



きこのデミハンバーグの洋風弁当
800円
弁当サイズ 24X24cm

申込記号【オ】



和風色彩弁当
600円
弁当サイズ 20X20cm

申込記号【カ】



チキン南蛮弁当
600円
弁当サイズ 20X26cm

申込記号【キ】



鶏てりマヨ丼
600円

申込記号【ク】



手作りサンドイッチ
600円

※お弁当のカラー写真は、大会ホームページの熊本情報でご覧になれます。

■参加申込方法・申込先・お支払方法のご案内

(1) お申込みは、①インターネット ②FAX の2種類からお選びいただけます。

(2) 申込締切日
 ◆早割締切 2012年5月7日(月) 24:00まで
 ◆通常締切 インターネット:2012年5月30日(水) 24:00まで
 FAX: 2012年6月1日(金) 24:00まで

(インターネット申込はWEB上での申込が完了していること、FAX申込は名鉄観光サービス(株)熊本支店へ着信していることが条件です)

①インターネット申込 <オススメ>

インターネットでお申込されますと、専用IDとパスワードで、受付期間内(5/30 24:00まで)であれば、いつでも予約内容の確認・変更ができますので、オススメです。

●参加申込専用 URL : <https://secure.mwt-ec.com/japsw48kmj/>



◎申込方法 専用URLにアクセスして頂き、申込の流れに沿ってお手続きください。
 全国大会・学術集会に関する全てのお申込ができます。

※大会参加自体を取消される場合は、受付期間内であっても、必ず書面(FAX・郵送)にてご連絡ください。

②FAX 申込

◎申込方法 巻末の申込書に必要事項をご記入の上、FAX(または郵送)してください。
 数日以内に受信(受取)確認をFAXにてご返信致します。



申込種類		決済方法	締切日	入金締切日	参加券等発送日
早割	インターネット	クレジット決済	5月7日(月)	5月18日(金)	5月25日(金)
		銀行振込			
	FAX★	銀行振込			

★FAX受付後に名鉄観光サービス(株)から送信される「回答書兼請求書」に基づき、入金締切日までにお振込みください。

<ご注意>

早割の方は、上記の入金締切日までにご入金ください。
 ご入金の確認ができない方は、通常申込の取扱となりますので、ご注意ください。

申込種類		決済方法	締切日	入金締切日	参加券等発送日
通常	インターネット	クレジット決済	5月30日(水)	6月15日(金)	6月8日(金)
		銀行振込			
	FAX☆	銀行振込			

☆6月8日(金)に発送する参加券等とあわせて請求書をお送りします。それに基づき、入金締切日までにお振込みください。

支払方法選択

- ◆クレジットカード決済: インターネット申込の方に限ります。インターネット登録の際にカード情報をご入力ください。
- ◆銀行振込入金 : FAX申込の方全員、およびインターネット申込の銀行振込希望者が対象となります。請求書をご確認の上、入金締切日までにご入金ください。
 ※振込手数料は、お客様ご負担となりますので予めご了承ください。

■領収書のご希望

領収書は、次のお手続きをいただくことで発行いたします。参加券等とともに同封されている「領収書発行依頼書」に必要事項をお書きの上、名鉄観光サービス(株)へFAXしてください。大会当日、名鉄観光サービス(株)ブースにて、領収書をお渡しいたします。また、「プレ企画」「全国大会・学術集会」参加費は、「社団法人日本精神保健福祉士協会」発行の領収書になります。

・お申込なく当日お越しいただいても大会に参加頂くことはできませんが、空席のないプレ企画や分科会にはご参加いただけません。

■変更・取消について

①インターネット申込の方

- ・受付期間内(5/30 24:00まで): WEB上にて何度でも変更が可能です。
- ・受付締切後(5/31以降): WEB上での取消・変更ができなくなりますので、書面(FAX・郵送)にてご連絡ください。なお、申込内容は閲覧いただけます。

※大会参加自体を取消される場合は、受付期間内であっても、必ず書面(FAX・郵送)にてご連絡ください。

※早割の方で、早割締切(5/7)以降に金額が変動するような変更をされる場合は、必ず書面(FAX・郵送)にてご連絡ください。

②FAX 申込の方

申込書の控えに直接、変更・取消内容をご記入頂き、必ず改めてFAXにてご連絡願います。

◆早割の方について

◎大会参加・学術集会・プレ企画 : 早割締切後の追加変更は、通常の参加費になります。

◎宿泊・弁当・懇親会・オプションツアー: 早割締切後であっても、同額で変更可能です。

<ご注意>

- (1)お電話による変更・取消はお受け致しかねますのでご了承ください。取消手続きがない場合は、申込内容額をご請求いたしますので、ご了承ください。
- (2)変更・取消による清算は大会終了後に行います。大会当日会場でのご返金は出来かねますので予めご了承ください。
- (3)お客様のご都合でご予約を取消される場合、以下の取消料を申し受けます。
- (4)5/31にお申込みで、6/20の宿泊を予約される場合、取消料20%期間に入りますので、ご注意ください。

<取消料>

◆参加費・懇親会・弁当代の取消・変更手数料

取消日	お申込～6/7(木)	6/8(金)～6/14(木)	6/15(金)～当日	旅行開始後・無連絡
大会・学術集会	無料	100%		
プレ企画				
懇親会費	無料		100%	
弁当代				

◆宿泊・オプションツアー・保険の取消・変更手数料

取消日	21日前まで	20日前以降	7日前以降	前々日	前日	当日	旅行開始後・無連絡
宿泊費	無料	20%	30%	30%	40%	50%	100%
オプションツアー							
保険	無料					100%	

- ・取消の基準日時は、名鉄観光サービス(株)熊本支店の営業日・営業時間内の通信を有効と致します。
- ・取消後の返金につきましては、大会・学術集会終了後、上記の申込取消時期に応じた取消料および登録代行手数料(525円)・振込手数料を差し引き、お客様ご指定の口座へ送金致します。
- ・取消料無料の期間であっても、費用振込を済まされている場合は、返金にかかる事務手続きが発生するため、登録代行手数料(525円)・振込手数料をご負担頂くことになります。
- ・大会・学術集会参加費をお支払された方で、当日欠席された場合、大会終了後に本部事務局より大会資料をお送り致します。事務整理上、多少の日数がかかります。なお、ご連絡なく当日欠席された場合は全額ご請求させていただきますので予めご了承ください。

●募集型企画旅行契約 本大会のためにご案内する宿泊・オプションツアー・懇親会につきましては、弊社熊本支店が旅行企画実施するものであり、巻末のお申込書を頂くことにより弊社が定める「旅行業約款募集型企画旅行契約の部」によりお引受致します。

●個人情報の取扱いについて 弊社熊本支店は、本大会に際しご提出頂いた個人情報につきましては、お客様との連絡や輸送・宿泊機関等の手配の為に利用させていただくほか、必要な範囲内において当該機関等に提出させていただきます。また精算等の関係上、保管期間は本大会終了後最長1年間までとし、期間終了後速やかに破棄させていただきます。

上記の他、弊社の個人情報の取扱いに関する方針については弊社の店頭またはホームページでご確認ください。

(<http://www.mwt.co.jp/info/kojinjohohogo.shtml>)

【宿泊・弁当・オプション等に関するお問い合わせ】

名鉄観光サービス(株)熊本支店

TEL 096-354-4351/FAX 096-354-4359

〒860-0804 熊本市辛島町5-1 日本生命熊本ビル4F

営業時間 月～金 9:00～17:30(土・日・祝休業)

担当:近藤・野田

各種参加券・請求書等送付先	都道府県	ご所属先	申込代表者
〒	〒	〒	〒
ご住所	※ビル・マンション名は略さずにご記入ください。()職場 <input type="checkbox"/> 自宅		TEL
			FAX
			居間の連絡先

※参加プログラムはP.2を、お弁当・宿泊等はP.18以降をご参照ください。

NO	参加者氏名	性別	参加区分 構成員は会員番号を必ず記入	参加形態	ブレ企画		分科会		参加費	懇親会	事務費	屋敷弁当	宿泊日 (申込記号)			アップ	保険	手話通訳等の希望	費用合計	備考 (同室希望者氏名等)
					1~3	4~6	1	2					20(水)大会前日	21(木)大会1日目	22(金)大会2日目					
例	メイテツ タロウ	男	<input checked="" type="checkbox"/> 日本協会構成員 NO 12-345678	<input checked="" type="checkbox"/> ブレ+大会	第1希望 1	第1希望 5	第1希望 1-①	第1希望 2-③	■早割 10,000円	○	525	1	T-⑦	T-⑦	T-⑦	T-⑦	有	74,925円	・禁煙 ・喫煙 ・どちらでもよい 熊本 小次郎	
	名鉄 太郎		<input type="checkbox"/> 非構成員 <input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> ブレのみ <input type="checkbox"/> 大会のみ	第2希望 2	第2希望 4	第2希望 1-④	第2希望 2-①	□通常 円	7,500	800	600	7,000	7,000	7,000	7,000	無	円	・禁煙 ・喫煙 ・どちらでもよい	
1			<input type="checkbox"/> 日本協会構成員 NO	<input type="checkbox"/> ブレ+大会	第1希望 1	第1希望 5	第1希望 1-①	第1希望 2-③	■早割 円		525						有	円	・禁煙 ・喫煙 ・どちらでもよい	
			<input type="checkbox"/> 非構成員 <input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> ブレのみ <input type="checkbox"/> 大会のみ	第2希望 2	第2希望 4	第2希望 1-④	第2希望 2-①	□通常 円								無	円	・禁煙 ・喫煙 ・どちらでもよい	
2			<input type="checkbox"/> 日本協会構成員 NO	<input type="checkbox"/> ブレ+大会	第1希望 1	第1希望 5	第1希望 1-①	第1希望 2-③	■早割 円		525						有	円	・禁煙 ・喫煙 ・どちらでもよい	
			<input type="checkbox"/> 非構成員 <input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> ブレのみ <input type="checkbox"/> 大会のみ	第2希望 2	第2希望 4	第2希望 1-④	第2希望 2-①	□通常 円								無	円	・禁煙 ・喫煙 ・どちらでもよい	
3			<input type="checkbox"/> 日本協会構成員 NO	<input type="checkbox"/> ブレ+大会	第1希望 1	第1希望 5	第1希望 1-①	第1希望 2-③	■早割 円		525						有	円	・禁煙 ・喫煙 ・どちらでもよい	
			<input type="checkbox"/> 非構成員 <input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> ブレのみ <input type="checkbox"/> 大会のみ	第2希望 2	第2希望 4	第2希望 1-④	第2希望 2-①	□通常 円								無	円	・禁煙 ・喫煙 ・どちらでもよい	
4			<input type="checkbox"/> 日本協会構成員 NO	<input type="checkbox"/> ブレ+大会	第1希望 1	第1希望 5	第1希望 1-①	第1希望 2-③	■早割 円		525						有	円	・禁煙 ・喫煙 ・どちらでもよい	
			<input type="checkbox"/> 非構成員 <input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> ブレのみ <input type="checkbox"/> 大会のみ	第2希望 2	第2希望 4	第2希望 1-④	第2希望 2-①	□通常 円								無	円	・禁煙 ・喫煙 ・どちらでもよい	
総計																	円			

※本冊子P.18以降をお読みいただき、取消料や個人情報取扱の取扱いについて同意の上お申込みください。

* 払戻し返金時の振込先口座(必ずご記入ください)

金融機関名	支店名	口座種目	口座番号	口座名義(フリガナ)
		当座・普通		

(障言を理由とするご希望の配慮の詳細など)

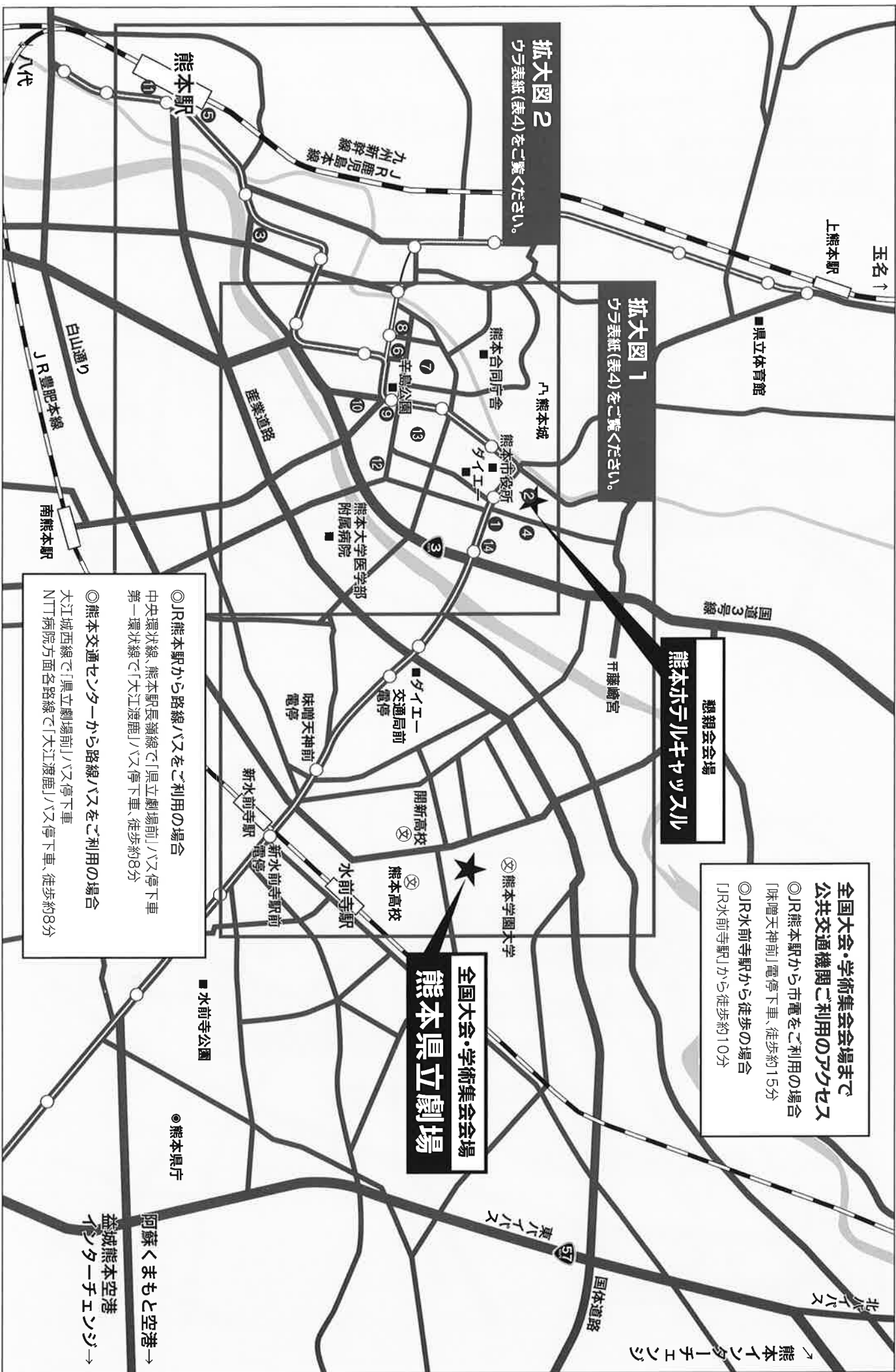
●お申し込み・お問い合わせは...
名鉄観光サービス(株) 熊本支店
担当: 近藤・野田
TEL 096-354-4351
FAX 096-354-4359
【営業日】月曜-金曜 9:00~17:30 土日祝休

弊社記入欄

- 早割申込締切日: 2012年5月7日(月)、通常申込締切日: 6月1日(金)
- 申込みが5名様以上の場合、用紙をコピーしてご使用ください。申込書は控えとして必ず保管してください。
- 日本精神保健福祉士協会構成員の方は**会員番号**を必ずご記入ください。
- 構成員の方は、「学生」区分での参加はできません。
- プレ企画と分科会は、第2希望までご記入ください。
- ご参加に係る入金締切日や参加券等発送日は、本冊子にてご確認ください。
- 禁煙ルームご希望の方は備考欄にご記入ください。(但し、希望に添えない場合がございます)
- 障言を理由とする配慮をご希望の方は右記欄にご記入ください。

熊本市内全体図

①～⑭ = 宿泊施設



拡大図 1 大会会場～懇親会会場～通町筋周辺



拡大図 2 熊本駅・熊本交通センター周辺

